



機関紙「フィトンチッド」第8号  
2023年2月発行

**報告** 学習交流会「脱炭素化と省エネ・再エネの課題」を開催して

12月4日午後、改善センター会場に、NPOかねやま電雪主催で、学習交流会を開催しました。11月3日に町長が町として「ゼロカーボン宣言」を発表した後もあり、町民だけでなく町議員や役場職員など50名を超える参加で、準備した資料が足りなくなりました。

小沼理事長の開会挨拶のあと、佐藤町長が改めて、ゼロカーボン宣言に至った経過とその決意を話されました。

続いて、芸工大の三浦教授から「脱炭素化と省エネ・再エネの課題」と題して、約1時間の講演をしていただきました。

最初に、もし町にある水や光や森林などの自然エネルギーで町のエネルギーをまかなえば、年間14億円のお金が外部に出ないで内部で循環するとの衝撃的なデータが示されました。これは町の年間予算約40億の1/3に相当します。

ヒートショックが多い東北の住宅の特徴を示し、自ら建設した「ゼロエネルギー住宅」を紹介しながら、省エネだけでなく健康のための断熱住宅の重要性を強調しました。また、最上は太陽光発電の冬季の効率は落ちるものの事業として成り立つこと、特にソーラーシェアリング（営農型発電）の可能性が大きいことを示してくれました。暖房は化石燃料の代わりに薪やペレットなどを地域循環資源として活用できることを話してくれました。

次に、4人の方から報告をしてもらいました。

1) もがみ自然エネルギー株式会社の小島さんから、昨年行った金山水系の水力発電調査の報告がありました。ダム直下からの本流を利用した発電は、数百KWレベルの出力が期待されますが農業用水との調整が難しいこと、しかし神室スキー場の沢水を利用した発電は小規模でも可能性があることを示していただきました。

2) NPOかねやま電雪の水戸部理事から、イワナ屋さんの沢水を利用したマイクロ水力発電の実験と2019年から小沼厚さんの畑を借りて行っている20KWのソーラーシェアリング実証実験の3年間の発電結果が報告されました。（3年間の売電収益115万円）

3) 芸工大4年で三浦教授門下の柿崎さん（金山町出身）からは、卒論テーマのソーラーシェアリングの調査研究を発表していただきました。県内の5ヶ所のソーラーシェアリングの実例をあげ、さらに金山町のニラやブルーベリー、ピーナッツ栽培と組み合わせた場合の事業試算も示し、その電力を町内の保育園などの事業所での自家消費と組み合わせれば、8年程度で投資回収ができることも示してくれました。

4) 宮城で太陽光発電設置事業を展開しているプロジェクトウサミの宇佐美社長から、大和町での100KWのソーラーシェアリング設置事例で、約1700万の投資が7.8年で回収する事業計画が示されました。

その後、活発な質疑があり、最後に柴田議員（NPO理事）から講師への謝辞と閉会の挨拶がありました。内容の濃い有意義な学習交流会になりました。

なお、受付に用意したソーラーシェアリングの下で今年収穫した大根などの作物（持ち帰り可）はすべてなくなり、3700円余の寄付が寄せられました。

⇒当日資料は、NPOのホームページ（<http://kaneyamadensetu.kirakirahatuden.com/>）で閲覧できます。（報告 水戸部）

**会場は農村環境改善センターにてコロナ感染予防のもと開催されました**



☆町長からゼロカーボンシティ宣言のお話がありました。



**自然に親しむ活動**  
くりひろい



☆顧問の横山先生と皆様

**思い出の昭和展示室**



☆仙台市泉区から菊地さん(山崎出身)の訪問がありました。  
☆同級生の正一会員が展示室と雪室をご案内!

**ソーラーシェアリングの営農応援団と芋煮会**



☆厚さん所有の畑を無償で借用して発電してますが営農は継続です。腰痛の厚さんに畑の手伝いを!  
☆斉藤・佐藤・長倉・丸友さんで立派な秋野菜を収穫しました。  
☆収穫後コロナのスキ見て芋煮会!



**これからの伝説!**

☆雪室および展示室の利活用においては通年利用可とし会員の家族・友人・知人は申し込み連絡で利用できます。  
☆山菜採りや栗拾い・芋煮会・天体観測・キャンプなどでのトイレの利用やスマホの充電・テレワーク等

特定非営利活動法人  
**かねやま電雪**

999-5401 山形県最上郡金山町大字有屋312番地  
事務局Tel 080-2303-3763 (担当 小沼・丹)  
HP: <http://kaneyamadensetu.kirakirahatuden.com/>

